

女性活躍発信事業【熊本県】

個別事業費	2,983 千円
交付金額	1,492 千円

地域の実情と課題

令和4年度に実施した「若い女性の県外転出要因分析調査(熊本県の20代~30代の女性の転出超過数が男性を上回っている要因の調査)」の分析結果(働く女性のモデルケースが少ない、など)を基に、熊本で暮らし、働く身近なロールモデルとなる女性を増やしていく取組みが必要である。

事業の特徴

女性が熊本で暮らし、働きたいと思えるよう、若い女性が様々なジャンルに挑戦し県内で活躍するロールモデル動画を県内外に発信する取組みとして、以下の事業を実施。

- <女性の就労促進・キャリア形成>
- ・女性活躍発信事業

事業の効果

- ・熊本で活躍するロールモデルとなる女性たちの存在を多くの方に知ってもらい、女性が熊本で活躍するきっかけ作りに繋がった。
- ・YouTubeチャンネル「KUMAROMO(クマロモ) くまもと女性ロールモデル」に投稿した「熊本県版女性ロールモデル」動画については、総再生回数7.2万回超(※令和6年5月1日時点)と、多くの方が視聴し、女性が熊本で活躍している姿を県内外に広く発信できた。

目的・目標

熊本で暮らし、働く、身近なモデルケースとなる女性を発信し、女性が活躍できる熊本の魅力を県内外に知ってもらうことで、若年女性の就労促進やキャリア形成、熊本への移住定住に関心を持ってもらうためのきっかけを作る。

- 主な目標値
- ①管理的職業従事者に占める女性の割合:30%

連携団体

- 「熊本県女性の社会参画加速化会議」
- ・大学コンソーシアム熊本
 - ・熊本県経営者協会
 - ・熊本経済同友会
 - ・熊本県商工会議所連合会
 - ・熊本県商工会連合会
 - ・熊本県中小企業団体中央会
 - ・日本労働組合総連合会熊本県連合会
 - ・熊本県社会福祉法人経営者協議会
 - ・熊本県看護協会
 - ・熊本県男女共同参画活動交流協議会
 - ・女性経営者
 - ・熊本労働局

今後の課題

大都市圏では、勤務先で身近なロールモデルがいる一方で、熊本でキャリアを積めるか不安に思う声もあり、熊本でもモデルケースとなる女性を増やしていく必要がある。

事業の概要

1. 女性活躍情報発信事業

熊本の様々なジャンルで活躍する「熊本県版女性のロールモデル動画」の発信

発信方法：YouTubeチャンネル「KUMAROMO（クマロモ） くまもと女性ロールモデル」を開設

※チャンネルURL：<https://www.youtube.com/@kumaromo>

内 容：①熊本で活躍する女性のロールモデル動画（5分×5名）

② ①のダイジェスト版（5分）

出演者：安藤 宏恵（熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 助教）

坂本 美鈴（勘米良農園）

河津 奈那（株式会社鶴屋百貨店 人事部）

筑紫 祐里奈（株式会社岩永組 工事部 土木）

高橋 尚子（株式会社CREIT 代表／活動家・YouTuber）



チャンネルQRコード

動画公開：令和5年11月29日（水）17：00～

